

# うちなだ 議会だより



みんな  
がんばったね!

10月5日(土) 鶴が丘保育園の運動会が  
鶴ヶ丘小学校体育館で行なわれました。

Vol. 139

令和元年(2019)

11月5日発行

石川県内灘町議会



# 告決議全会一致で可決

内灘町議会は、9月18日の本会議で磯貝議員に対する議員辞職勧告決議を、当事者を除く全会一致で可決しました。この辞職勧告決議案は、磯貝議員に政治倫理条例違反の疑いがあることから調査請求が提出されたことを受けてのものでした。<sup>\*1</sup>

議長は、審査会を設置し、この調査請求の審査をゆだねました。<sup>\*2</sup>

これを受けた審査会では、6月17日から9月6日までの間に8回にわたる審査会を開催しました。<sup>\*3</sup>

その審査結果を『審査結果報告書』として9月9日、議長に提出しました。<sup>\*4</sup>

議長は、この報告書を政治倫理条例の規定に基づき、議会運営委員会に諮りました。**磯貝幸博議員に対する議員辞職を求める決議案**は、こうした経緯で提案されたものでした。

## 磯貝幸博議員に対する議員辞職を求める決議

磯貝幸博議員は、平成30年10月7日、飲酒により酩酊状態となり、町内飲食店において、アルバイトの女性従業員の太ももから腰にかけて複数回にわたり触れる行為をした。また、同店の外ではガス管やメーター付近に衝撃を与えガスの供給を一時的に停止させたそれらの行為は新聞、テレビで大きく報道された。当町議会として真相を確認するため、本人の説明を求めたが、説明責任を果たすことなく一身上の都合により同年10月15日付で議員辞職をしたところである。

これらの行為について、本年6月4日に内灘町議会議員政治倫理条例第4条の規定に基づき調査請求があり、6月12日付で政治倫理審査会が設置された。6月17日から8回にわたり政治倫理審査会で調査を行った結果、同条例第3条第1号「いやしくも町の名誉を傷つけるような行為をしないこと。」及び同条第2号「町民全体の代表者としてその品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑いをもたれる恐れのある行為をしないこと。」で規定する倫理基準にいずれも違反するとして審査結果報告書が9月9日付で提出された。

それらの行為は、内灘町議会議員政治倫理条例の目的である議員は町民の厳粛な信託に応えるため、町民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努め、誠実かつ公正に議員活動に取り組むことに反することはもとより、内灘町民全体の代表者である内灘町議会議員としての品位と、内灘町議会の名誉を傷つける行為と言わざるを得ない。

よって本町議会は、磯貝幸博議員に対して、すみやかに議員を辞職することを求めるものである。

以上決議する。

令和元年9月18日

石川県河北郡内灘町議会

上記の決議を行なった後、このような不祥事を二度と起こさぬことを誓うために**内灘町議会における政治倫理向上に関する決議案**も全会一致で可決しました。

## 内灘町議会における政治倫理向上に関する決議

内灘町議会は、内灘町議会議員政治倫理条例（平成15年3月19日条例第15号）を内灘町議会総意のもとに定め、町民からの信頼を高めるとともに町民福祉の向上と町政発展に向け邁進してきた。

この度、この議員政治倫理条例に抵触する事件が発生したことは、町民の皆様の期待に反するとともに信頼を損なうものであり、内灘町議会として、誠に遺憾である。

この現況を真摯に受け止め、議員として、町民の負託を受けていることへの十分な自覚、さらには自己の能力を高める不断の研鑽に努め、町民の代表としてふさわしい活動に邁進することを改めて相互に確認する。

今後、このような問題を二度と起こさぬよう、町民の代弁者である議員一人ひとりが応分の責任と倫理、品位と見識をもって政治活動を行うことを改めて決意し、町議会一丸となって町民の皆様の信頼回復を図るため今後努めることを誓う。

以上決議する。

令和元年9月18日

石川県河北郡内灘町議会



# 磯貝幸博議員の辞職勧

## 町の名誉と町民全体の代表者としての品位を損なうと判断

### 審査請求の提出※1

令和元年6月4日、内灘町議会議員政治倫理条例（以下、政治倫理条例）の規定に基づき、南守雄議員と北川悦子議員から磯貝幸博議員（以下、磯貝議員）を審査対象として、政治倫理条例に違反しているとの調査請求がなされた。

### 違反する疑いがあると認められる政治倫理基準

#### 政治倫理条例第3条第1号

いやしくも町の名誉を傷つけるような行為をしないこと。

#### 政治倫理条例第3条第2号

町民全体の代表者としてその品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑いをもたれる恐れのある行為をしないこと。

### 違反行為の具体的内容及び調査目的

- 平成30年10月7日午後5時半頃、泥酔し町内の飲食店で女性アルバイト従業員（当時19歳）の体を複数回触るなどセクハラ行為を行なった。
- 同行者に注意を受けた後、店外にて同店のガスメーターを蹴ってガスが止まり、一時営業ができなくなるなど、営業妨害を行なった。

以上の行為の存否及び条例違反について、政治倫理条例に照らし調査する。

### 審査会の設置※2

中川達議長（以下、議長）は、政治倫理条例第6条の規定に基づき、6月12日に内灘町議会議員政治倫理審査会（以下、審査会）を設置した。同日、議会運営委員会に諮り、右記の6名の委員が選任された。

会長	北尾美帆（弁護士）
副会長	清水文雄
委員	夷藤 満、恩道正博 生田勇人、七田満男

### 審査会の開催※3

審査会では、磯貝議員本人や店舗関係者あるいは目撃者など関係者への聴取を行なった。

第1回 令和元年6月17日 第2回 令和元年7月 1日 第3回 令和元年7月 3日 第4回 令和元年7月18日  
第5回 令和元年8月 1日 第6回 令和元年8月27日 第7回 令和元年9月 2日 第8回 令和元年9月 6日

### 審査会の結論※4

- 磯貝議員は、平成30年10月7日午後5時頃、内灘町内の飲食店にて、飲酒のため酩酊状態に陥った状態で、ビールジョッキを握っている手の甲等で、被害女性が嫌がっていたにもかかわらず、被害女性の太ももから腰にかけてそのズボンの上から複数回触れた。
- 同日同時刻頃、同店舗外に設置のガス管及びガスメーター付近をたたくなどして衝撃を与え、同店内のガス供給を一時的に停止させ、約1時間30分にわたり営業を停止させた。

との事実が認められる。これら事実は、磯貝議員及び被害女性、被害店舗との間の示談の際、概ね同旨の事実を磯貝議員が認めている。加えて、被害店舗店長、被害店舗店長の親族、目撃者2名の聴取内容とも概ね一致することから、事実として認められる。

本件に対しては、磯貝議員が、被害女性及び被害店舗と示談をし、事実関係を認め謝罪等をしていること、平成30年10月15日付で議員辞職をしていることから、一定の対応をとっていることは確認できた。しかし、飲酒酩酊して未成年女性従業員にセクハラ行為をはたらく等の一連の行為は、明らかに町の名誉を著しく傷つけ、また、町民全体の代表者としてその品位と名誉を損なうものである。

よって、政治倫理条例第3条第1号及び同条第2号に反すると判断した。

# 保育、副食費も無償化

## 特別保育事業費等補助金 (町独自の施策として、副食費の無償化)

1167万円



幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料が無償化。  
0歳から2歳までの子どもたちは、住民税非課税世帯を対象として利用料が無償化。

令和元年内灘町議会9月会議が開催され、補正予算のほか、条例、人事案件など計16議案を審査し、すべて原案のとおり可決しました。

## 9月会議

### 補正予算

(全員賛成)

#### 一般会計(第2号)

1億6590万円増額、総額97億890万円。

#### 公共下水道事業特別会計(第2号)

委託料及び工事費の予算の組み替え。

#### 国民健康保険特別会計(第2号)

2415万円増額、総額26億1715万円。決算による。

#### 介護保険特別会計(第2号)

2830万円増額、総額20億1710万円。決算による。

### 未処分利益剰余金の処分

(全員賛成)

平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金1829万7693円のうち、1300万円を減債積立金に500万円を建設改良積立金に積み立て、残余を繰り越す。

### 条例改正

(全員賛成)

条例名は省略してあります。

#### 森林環境譲与税金条例の制定

森林環境譲与税の新設に伴い、森林整備やその促進に関する施策に要する財源に充てることを目的として、当該譲与税を原資とする基金を設置する。

#### 災害弔慰金の支給等に関する条例

災害援護資金の貸付利率の現行「年3%」を、保証人を立てた場合「無利子」に、保証人を立てない場合「年3%以内」とし、規則で定める率に改正。

#### 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、放課後児童支援員の認定資格研修の所要の改正。

# 10月より幼児教育・



## 大根布小学校の大規模改修工事実施設計費用

1650万円

### その他の主な事業

- 公共施設等改修工事** 825万円  
 役場庁舎扉開閉システムの故障に伴う工事費。
- 母子保健情報連携システム改修費用** 297万円  
 乳幼児健診等の健康情報をマイナンバーカードの利用により、閲覧できるようにシステムを改修。
- 未熟児養育医療費助成金** 168万円  
 申請件数が見込みより増加。
- 障害者医療給付費** 1450万円  
 給付費が見込みより増加。
- 公的病院等運営費補助金** 1億円  
 救急医療の確保と地域医療の充実のため、金沢医科大学病院に運営費を助成。
- 大会出場補助金** 264万円  
 中学校部活動の北信越、中部日本、全国大会等への出場が増加。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例  
 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、幼児教育・保育の無償化による利用者負担額の追加などの改正。

水道事業給水条例  
 水道法等の一部改正に伴い、指定給水装置設置工事業業者の指定に係る手数料の改定のほか、条例中の引用条項の条ずれ等を改める。

法律の一部改正に伴い、条例中の引用条項の条ずれなどを改めたものは左記のとおり。

本社機能立地促進のための固定資産税の特例に関する条例  
 災害による被害者に対する町税の減免に関する条例  
 家庭的保育事業等の設備と運営に関する基準を定める条例

**7月会議**

**契約の締結**  
 (賛成10人・反対2人)  
**(仮称) 産業支援センター整備工事**

契約相手 城東建設株式会社  
 契約金額 2億2418万円  
 工期 令和2年3月16日

※9月会議での審議の結果、賛否が分かれた議案はありません。  
 ※関連する委員会質疑は9ページに掲載。



定免 邦幸氏  
 (新任) 鶴ヶ丘

### 教育委員会委員



北谷 俊彦氏  
 (新任) 白帆台

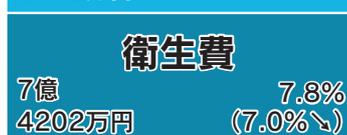
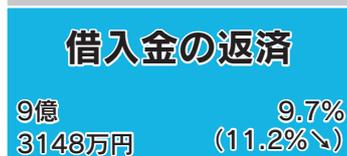
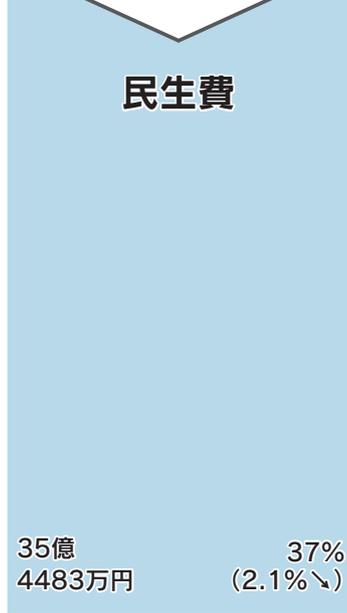
### 監査委員

### 人事案件

(全員賛成)

# 面的な管理・見直しを

歳出  
95億7298万円  
(14.4%↘)



町民一人あたりの費用  
35万9413円/人※  
平成29年度 41万8256円/人

このように使われました

民生費 13万3089円/人

障がい者・高齢者・児童への支援などに使ったお金



土木費 5万2119円/人

道路や公園整備などに使ったお金



総務費 4万4433円/人

庁舎管理、戸籍、徴税、選挙、防災などに使ったお金



教育費 3万9302円/人

小中学校の運営や生涯学習・体育振興などに使ったお金



借入金の返済 3万4972円/人

町の借入金を返済するために使ったお金



衛生費 2万7859円/人

保健事業やごみ収集、環境保全などに使ったお金



消防費 1万2904円/人

消防団活動、救急などに使ったお金



その他 1万35円/人

農林水産業、商工、労働費、諸支出金に使ったお金



議会費 4700円/人

議員報酬や議会活動に使ったお金



## 平成30年度決算の指摘事項

### 1. 災害時の対応の充実を図るべき

災害時の対応では、乳児用液体ミルクの備蓄を追加するほか、動物を飼っている家族などの避難対応のシステム作りなども検討すべきである。

### 2. 河北潟水質浄化の進展を図るべき

河北潟の水質浄化は、長年にわたり周辺市町の課題となっている。水質の計測を続けるだけでなく、国や県を巻き込み本格的な調査研究に取り組むべきである。

### 3. 向粟崎地区街なみ整備事業の方向性を協議すべき

街なみ整備事業のあり方に関して、改めて地元町会と話し合いの場を設け、今後の方向性を協議すべきである。

### 4. ライトアップ事業の提案・公募を検討すべき

内灘大橋は町のランドマークとして、観光客の目をひく魅力あるものである。以前の様なライトアップは費用がかさむということならば、民間の企業や研究機関等が行うモデル事業として整備できないか提案・公募も考えるべきである。

### 5. 学校給食共同調理場の改修や新築を検討すべき

学校給食共同調理場は、近年、毎年のように設備を更新しながら稼働している。調理される方も過酷な環境で働いているなか、大切な子どもたちを育成する大事な施設であるため、今後中長期的に施設の改修や建て替えを検討すべきである。

### 6. 特色ある図書館を考えるべき

県内の他市町では、次々と新しい図書館が建設されている。広域連携が進むなか、建て替えることが本当に妥当か検討すべきであり、内容や質の向上に目を向け、町独自の特色や住民のニーズに対応した図書館を考えるべきである。

### 7. 特産品の流通・販路拡大を図るべき

特産品の開発を継続するとともに、流通・販路拡大のため、アンテナショップなどへの輸送費の助成を検討すべきである。

の繰入金が含まれていることにより、歳入が歳出を上回っています。

# 平成30年度 決算



# 公共施設の計

平成30年度一般会計、特別会計、水道事業会計の7会計決算認定は、本会議及び全員協議会で概要説明があり、決算特別委員会に付託審査されました。(詳細は8ページ) 各種会計決算認定に関する審査過程で特に問題とされた7事項を指摘し(6ページ右枠を参照)、審議の結果すべて原案のとおり認定しました。

## 一般会計 POINT

### 歳入

**町税全体では3年ぶりの減**(前年度比0.2%減)

町民税は前年度比0.5%増、徴収率は96.07%(前年度比0.27%増)でした。

**国庫支出金は前年度比28.5%の減、町債は45.1%の減**

白帆台小学校建設事業完了などによるものです。

**ふるさと寄附金は1536万5000円**(グラフではその他に含まれる)

前年度比42.3%の増でした。

### 歳出

**民生費は前年度比2.1%の減、10年間では13億6099万円の増**

町民一人当たりの民生費は8万1737円(平成20年度)から10年で約5万円の増となっています。

**教育費は前年度比65.1%の減**

白帆台小学校建設事業完了によるものです。

## 一般会計の借金と貯金

	一般会計 基金の計	一般会計 町債の計
平成28年度	14億 967万円	112億2286万円
平成29年度	12億2677万円	122億2297万円
平成30年度	11億2571万円	124億4978万円

### 町民一人あたりの

#### 貯金

**4万2264円/人**

29年度 4万5886円/人

#### 借金

**46万7422円/人**

29年度 45万7189円/人

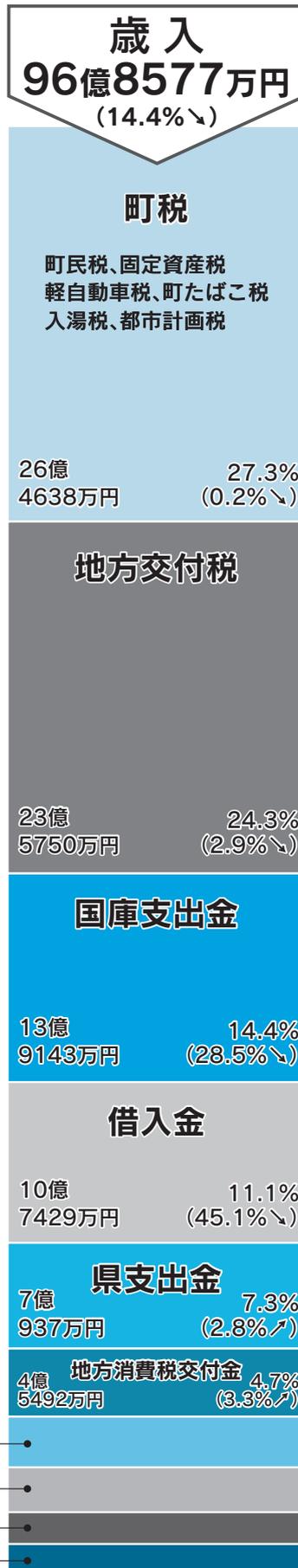
※平成31年3月末人口 26,635人(前年度より100人減)で計算

## 特別会計決算

会計名	収入額	支出額
公共下水道事業	14億 584万円	14億 578万円
新エネルギー事業	1563万円	1561万円
国民健康保険	25億9953万円	26億8150万円
後期高齢者医療	2億9745万円	2億9712万円
介護保険	18億7894万円	18億5733万円

## 水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収支	5億7005万円	5億4312万円
資本的収支	1億1494万円	1億9113万円



・歳入には、翌年度繰越事業のための財源や財政調整基金から  
・( )内は前年度比

# 決算特別委員会

決算特別委員会が開催され、各種会計決算を3日間にわたって慎重に審議し、すべて原案のとおり認定しました。主な質疑を紹介します。

## 固定資産税

**問** 平成28年度の法改正により危険家屋と認定された家屋の税収を最高額(更地と同等)まで上げることができるようになった。町で認定した危険家屋にそのような課税をしたか。

**答** 危険家屋と認定された家屋はなかったため、課税に影響した案件はない。

## 風車

**問** ここ数年、修理してもすぐに、また新たな部分の故障が続いている。修理して残すか撤去するか、まだ結論が出せないのか。

**答** 現在、同規模の施設がどのようにしているか調査している。財源も必要ないため、補助対象にならないか各機関に問い合わせしている。

設備を更新する案と、風力発電事業を廃止する案とを合わせて検討中なので、今しばらく時間が欲しい。

## 定住促進

**問** マイホーム取得奨励金は平成30年度より町内在住者も34歳以下に限り10万円交付となり、実際に5件の申請があり、転出抑制にもつながったと評価する。今後も転入促進に力を入れつつ、転出抑制にも重きをおいて事業実施せよ。

**答** 幅広く情報発信して、県外からもっと移住者を増やしていこうという狙いから、令和元年度にはPRサイトを作成する。

## 決算特別委員会とは

議長と議会選出監査委員を除く11名の議員のうち6名で構成され、年1回設置される特別委員会。

前年度に執行された事業が適切であったかを審査し、次年度に向け改善を指摘する役割を果たします。



委員長 副委員長  
土屋克之 七田満男 生田勇人  
夷藤 満 ◎小谷一也 ○米田一香

## どうなった？ 平成29年度決算の指摘事項

平成30年度決算認定の前に、平成29年度決算認定で指摘した6項目がどうなっているかとの説明が執行部より行なわれました。

### 防災拠点施設を活用すべき

・平成30年度、新たに建設した南部地域防災センターでデジタルサイネージトライアルの実証実験を行なうなど、防災拠点施設の有効活用に努めた。

### 企業誘致を推進すべき

・平成30年10月に白帆台商業用地に、クリニック(小児科、循環器内科、産婦人科)及び調剤薬局の開業に至った。

### 自転車利用者の増加を図るべき

・令和元年度、大規模改修を実施している石川県立自転車競技場とともに、隣接する総合公園のスポーツ施設や宿泊施設、温浴、文化施設をあわせ、更なる交流人口の拡大をめざし、指定管理者と連携・協力して、魅力発信・情報発信に努める。

### 効率的な財政運営に取り組むべき

・今後も事務事業の見直しや経常経費の削減を行なうとともに、自主財源の確保に努めるなど、効率的な財政運営に努める。

### ケーブルテレビの内容充実を図るべき

・文字放送なども有効に活用し、番組のあり方や放送内容の検討を進めている。

### 観光施策の充実を図るべき

・令和元年度に機構改革を実施し、4月より地域振興課内に観光振興室を設け、戦略的な観光施策の推進に取り組んでいる。  
・令和元年9月に本町初となる地域おこし協力隊員が着任した。



身近なもので応急手当訓練  
(10/29の町防災訓練 白帆台小学校)

# 総務産業 建設常任 委員会

## 教育、文化振興で協力 金沢学院大・短大と 包括連携で協定締結

◎七田満男 ○恩道正博 南 守雄  
北川悦子 米田一香 土屋克之



双方にメリットを

令和元年10月1日、町役場で行なわれた締結式で、町長は「知的、人的資源を活用させてもらい、着実に成果につなげたい。」と挨拶。秋山稔あきやまのり金沢学院大学学長は小学校での英語教育やICT（情報通信技術）教育、中学校などでの栄養、スポーツ指導を挙げた上で、「美しい自然と豊かな文化遺産があり、歴史や文化面でも連携が可能だ。」と述べた。（北國新聞から抜粋）

**問** いきさつは。  
**答** 今回の連携協定は、大学から要請があった。町としても大学の幅広い専門知識を教員・学生を通して教わることで、町の発展につなげたい。

### その他の質疑・意見

**問** 水道の包括民間委託を検討しては。  
**答** 自己水源の確保に向けた調査結果では単価が上がる見込み。

民間委託は近隣自治体の状況を踏まえて、今後、検討する。

**問** 道路に面する危険なブロック塀の補助制度は、塀の撤去と新設の両方に補助されるのか。  
**答** 現在は撤去のみと考えている。

**問** 駅前観光案内所の外国人来場者数は7・8月の合計数が、447人と前年度の約2・5倍もある。絵葉書などを売ってはどうか。  
**答** 観光協会と一緒に検討する。

# 福祉 教育 文化 常任 委員会

## 夕陽ヶ丘苑

## デイサービス再開に向けて

◎清水文雄 ○小谷一也 夷藤 満  
生田勇人 磯貝幸博 西尾雄次

平成30年10月から夕陽ヶ丘苑のデイサービスが休止していることに対し委員から再度質問があった。

**問** 夕陽ヶ丘苑デイサービスの根本的な対策を検討し対処すべきでは。  
**答** Aいや介護ロボットの導入を含め、介護職員の充実を図るよう検討する。

### その他の質疑・意見

**問** 未熟児養育医療費助成金が増額補正されている理由は。  
**答** 切迫早産が増えている。前年度は述べ人数で10件、実人数は5名。

**問** 中学校の大会出場費中、吹奏楽部は中部日本出場に216万9000円と金額が多いが、全員参加なのか、選出されたメンバーだけなのか。  
**答** 中学校吹奏楽部員が90名近くいるが、参加する編成50人を対象とした。

**問** 大根布小学校大規模改修調査設計等委託料が増額補正されている。他の学校の計画は。  
**答** 次は向栗崎小学校、清湖小学校と順次予定している。

**問** サイクリングターミナルの喫煙所は屋外のどこに設置する予定か。  
**答** 食堂の横にカーポート的なものを設置する予定だ。

**問** 小中学校の先生の勤務時間は何時から何時までか。  
**答** 中学校は8時～16時30分、小学校は8時10分から16時40分。

**問** 小学校の先生の残業時間が月に80時間超える人もいるが原因は何か。  
**答** 教材研究が一番大きい。



待たれる再開

親しみやすい紙面づくりを目指して

視察 議会広報対策特別委員会  
【日程】令和元年9月25日～27日

- 【視察先】
- ・東京都(町村議会広報研修会)
  - ・群馬県しんとう榛東村議会



全国研修会

- ① 読者目線で親切な広報紙を作るには  
手を取られ、読まれ、  
行動に結びつけるには
- ② 情報を分かりやすく伝える
- ③ 町村議会広報コンクール上位入賞  
団体の評価ポイント  
(埼玉県寄居町・宮城県川崎町)

研修会では、3名の講師による右記の3つのテーマの講義を受けました。学んだポイントは、以下のとおりです。

- 見出しは、一番伝えたいことを簡潔に表し、全体像が分かるようにする。
- タイトル、リード文、小見出しで記事の内容が理解できる紙面づくりが大切である。
- 写真のキャプションは意外と読まれ

る。本文に載せられなかった情報や補足に使う。

- 自分が納得する文章ではなく、受け手、読者に理解してもらおうための文章が広報の文章だと基本的なところを改めて教えてもらった。
- 人は期待しているものだけを知覚するため、住民のより関心が高いテーマを取り上げて掲載というやり方もある。
- 読者を迷わせないように、解説をつけ、記事の配置や流れを整える。何故大事なのかを書くこと。

振り返りでは、各委員から今後の編集改善へ多くの意見が出されました。最後は、土屋委員長が『埼玉県寄居町議会の「読まれない議会だより」に出す意味なし！』という考えを参考に、内灘町の議会だよりが住民の皆様に愛されるよう委員全員協力し合い、編集して「いこう」と、意思疎通を図りました。

群馬県榛東村議会

掲載内容に何を残すか選別し、町広報とかぶらないよう、議会だよりでは、決まるまでの過程(なぜ決まった、何がいい)など、審査の中身を載せるようにしていた。

- 議会だよりのアンケート回答者は60・70代が多く、若い世代が少ない。どの町村も政治への関心が低いと思った。
- 委員会の読み合わせ、次の校正までの期間が一日と短かった。
- 審議結果や説明などの全文はHP掲載とし、興味のある方がスマホを使ってQRコードで読み取り、詳細をHPで見てもらうよう誘導しないと、限られた紙面内で情報を伝えるのは難しいと感じた。
- 榛東村は、全ページカラーで発色もよく、見やすい。

榛東村議会だよりは公正、正確、客観的な記事の作成と読者目線に立ち、読みやすく住民参加の親しみやすい紙面づくりを心がけている思いを強く感じました。  
(小谷 一也)



ようこそ  
視察受入状況

- 6月27日  
栃木県那須町議会  
議会広報特別委員会  
議会広報紙編集
- 7月12日  
京都府宇治田原町議会  
教育民生常任委員会
- 10月10日  
福井県若狭町議会  
教育厚生常任委員会
- 10月17日  
福岡県新宮町議会  
子育て支援施策  
教育厚生常任委員会
- 10月17日  
白帆台小学校(現地視察)
- 10月17日  
福岡県新宮町議会  
タブレットを活用した議会運営  
議会改革全般

委員の辞任と選任

磯貝幸博議員から、一身上都合により議会広報対策特別委員会委員の辞任願が提出され、許可されました。  
新たに議会広報対策特別委員会に恩道正博議員が指名され、選任されました。

# 町政も問う

## 9人が登壇

### 一般質問 (9月5日・6日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

にしお ゆうじ <b>西尾 雄次</b> .....	12
・利用者減少傾向が続いている町立図書館の移転新築構想は ・林帯遊歩道の樹木に「樹木名札」の設置を (ほか2問)	
つちや かつゆき <b>土屋 克之</b> .....	13
・インスタ映えする内灘海岸の魅力発信について ・自治体自体の消費税増税前の駆け込み消費について	
こたに かずや <b>小谷 一也</b> .....	14
・通学路の安全対策について ・スポーツ大会等出場補助金について (ほか1問)	
しみず ふみお <b>清水 文雄</b> .....	15
・住民参加のまちづくりの推進にむけ、「まちづくり基本条例」(自治基本条例)の制定に対する町長の考えを聞く ・4年前に内灘町子ども議会が開催され、子どもが町の将来や施策について考え提案や質問し、子どもの社会参加が推進された。子ども議会の開催についての考えを聞く (ほか1問)	
よねだ かずか <b>米田 一香</b> .....	16
・遊休施設の利活用について ・豊かな自然を守り・育み・未来につなぐ「森林環境税・森林環境譲与税」について	
きたがわ えつこ <b>北川 悦子</b> .....	17
・参議院議員選挙の投票率から学ぶ ・幼児教育・保育の無償化の課題を問う (ほか2問)	
いそがい ゆきひろ <b>磯貝 幸博</b> .....	18
・RPAとAIを組み合わせた業務効率化を進めよ ・マイナンバーカードの普及を急げ (ほか4問)	
しちだ みつお <b>七田 満男</b> .....	19
・公園での遊びのルールを問う ・学校屋外プールにおける熱中症対策を問う	
いとつ みつる <b>夷藤 満</b> .....	20
・町にある集会所の改修工事、維持管理について ・県道松任宇ノ気線の清湖大橋下、交差点の信号機、横断歩道について (ほか1問)	



ガアくん  
5歳 ♂  
アヒル  
犬根布

# 新図書館の「基本構想」策定を

## 町長 前向きに検討したい



にしお ゆうじ  
西尾 雄次

**問** 町立図書館の利用状況を年間来館者数の推移でさかのぼって見ると、平成24年度は8万2000人台で、平成30年度には6万9000人台と、7年間で1万3000人もの減少となっている。図書館は町の文化のシンボルで町民の誇り。時代に取り残された感のある現図書館を移転新築すべく、新図書館の基本構想策定に着手すべきだ。

**答** 町立図書館は、現在、壁や床の張り替えを実施しているが、築後40年経過し老朽化が著しい。また施設の形態やコンセプトにおいても時代遅れ感はある。さらに、近隣の市町で図書館の新築が相次ぎ相対的に魅力も低下してきた。「豊かな文化のまち内灘」にふさわしい新たな図書館建設に向けて、基本構想策定を前向きに検討したい。



明るく広い図書館になるといいな

### 樹木銘板の設置

**問** 平成3年9月の台風でアカシア防風林帯が大きなダメージを受けた。倒木で荒廃していた防風林帯に新たに遊歩道を設け「林帯遊歩道」ができ、現在、多くの町民に親しまれている。また、内灘町が生涯学習都市宣言をして21年目となる。日常の中に「学びの環境」を創るため、遊歩道に「樹木銘板」を設置してはどうか。

**答** 平成8年3月の遊歩道全線開通以来、散策やウォーキングなどの健康づくりや安らぎを得られる緑の空間として利用されている。過去に町が設置した銘板は、現在、文字が薄くなっているものが目立つ。「自然を学べる学習環境」をつくることは意義のあることであり、設置に向けて前向きに検討したい。



学びとなる樹木銘板に

### その他の質問

**問** 町有遊休土地の活用では町民の声を聴けない。

**答** 現時点では考えていない。

**問** 本町の自治体※SDGsの進捗状況は。

**答** 元気づちな創生会議を開催。庁内ワーキング・グループも発足した。

※SDGs(エス・ディ・ジーズ) Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。2015年9月、国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(具体目標)から構成される。地球上の誰一人として取り残さないことを誓い、発展途上国のみならず、先進国自身の普遍的な取り組みを推進している。





つちや かつゆき  
土屋 克之

# インスタ映えするオブジェ設置を 基本構想具現化の折に検討したい 町長

## 一般質問



「いいね！」がたくさんもらえるかも

**問** 平成30年11月策定された内灘海岸賑わい創出事業基本構想の短期目標に「SNS等を活用した海岸情報の発信を強化」という言葉がある。どのSNS等をどのように活用するのか。

**答** 特に写真、動画を共有できるインスタグラムは、内灘海岸の魅力を伝える手段として大変有効であると考えている。

**問** ※インスタ映えする写真を撮ってもらうため、総合公園内の恋人の聖地の※オブジェであるダブルハートを大きく石づくりにして内灘海岸にも設置してはどうか。

**答** 基本構想具現化の折に検討したい。

## 経費削減

**問** 現在8%の消費税率は、令和元年10月1日から10%になる。町の消費税納付実績は、

**答** 平成29年度の場合、公共下水道事業特別会計では約1300万円、新エネルギー事業特別会計では約30万円、水道事業会計では約50万円だった。

**問** 6つの特別会計などは、消費税の課税事業者

**答** 今年度予算のうち、消耗品の購入、工事請負費及び委託料など、消費税率が改定される10月までに執行可能なものは極力前倒しするよう、各部署に周知し、経費節減に努めている。

となる可能性があり、消費税納付実績がある。民間企業と同様に節税対策や駆け込み消費も必要だ。節約精神が大事である。



増税はつらいよ

### ※SNS

ソーシャル・ネットワーク・サービスの略語。インターネットを介して情報の発信、共有、拡散を行なうことで人間関係を構築できるサービスで、ツイッター、フェイスブック、LINE、インスタグラムなどがある。

### ※インスタ映え

2017年流行語大賞。写真写りがいい、写真が映えるという意味で使われている。

### ※オブジェ

本来の目的から独立させることで象徴的な意味を持たせた芸術作品で、主に置物。



こたに かずや  
小谷 一也

# 通学路などに防犯カメラを設置せよ

## 学校教育課長 優先順位を決め設置を進める

**問** 児童の安全確保には、不審者情報の共有はもちろんだが、犯罪を未然に防ぐ効果として、安全・安心の観点から防犯カメラの設置が有効である。最近ではAI（人工知能）を駆使した防犯カメラがあり不審者を特定する技術も開発されている。保育園などの児童施設、小学校、中学校及び通学路などに防犯カメラを設置せよ。



見張っているよ（白帆台小学校）

**答** 町では、防犯対策及び通学路の安全対策として、現在11カ所、13台の防犯カメラを設置している。通学路安全連絡協議会で通学路の安全点検をし、防犯の観点から優先順位を決める。保育園等には防犯カメラが設置されている。現在、学校には白帆台小学校のみ設置しており、今後、検討する。

### スポーツ振興

**問** 全国大会・国際大会に出場する町内在住の小中学校に通学する児童生徒に、内灘町スポーツ大会等出場補助金交付要綱どおりに補助金は交付されているか。

**答** 大会に出場する小学生と引率する指導者に対し、交付要綱に基づき内容を審査し、妥当と認められるものには、補助金を交付している。

**問** ジュニアスポーツ奨励賞は子供たちの励みになる。県選手権大会3位以内に入賞して、全国大会に出場する選手まで授与の対象とせよ。

**答** 表彰基準は、県選手権大会で優勝、または北陸・北信越大会において3位以内入賞等となっている。表彰の価値を高いものにするためにも、現行の基準を維持する。

### その他の質問

**問** 災害時の避難所生活では病気になる人もいる。薬の確保をせよ。

**答** 医療機関や関係団体と連携し、医薬品の確保を図る。



全国大会出場おめでとう



しみず 清水 ぶんお 文雄

# まちづくり基本条例制定を 現在は考えていない 町長

## 一般質問



平成22年度 まちづくり町民会議

**問** 前町長はまちづくり基本条例制定に取り組んだが、最終的には議会で賛成7、反対8で否決された。当時の経緯を聞く。

**答** 制定に向け、平成22年度に、まちづくり町民会議に41名を委嘱、約2年間で18回開催。条例検討委員会は17回開催。平成23年度に町民と意見交換会を6回開催、パブリックコメントも行なった。

**問** まちづくり基本条例を制定して、協働のまちづくり、町民参加のまちづくりを推進せよ。

**答** 現在は考えていない。今後も町民への情報提供に努め、意見交換会や研修会などの機会を通じ、町会区長会、商工会、女性会など各界各層から幅広く意見を聞き、町民と一体となったまちづくりの推進に努めたい。

## 子ども議会の開催

**問** 平成27年8月、子どもの権利条例に基づいて、子ども議会が開催された。総括は。

**答** 質問の多くは、子供目線で主体的にふるさと内灘を考えるもので、きれいなまちづくりや町の知名度向上、環境問題、インターネットのルールづくりなどの提案だった。郷土愛の醸成にも繋がる有意義な機会であった。



子ども議会を もう一度

**問** 子ども議会の開催は、子供たちが「知り、考え、意見を持ち、論じ、決める」を学ぶ機会であり、主権者教育の観点からも重要だ。開催に向けた計画は。

**答** 全小中学校、内灘高校の子供たちが対象となるが、それぞれ学校行事等もある。来年の夏休みを活用できればと考えている。

## その他の質問

**問** 民間の老朽化したブロッコ坪等の除去、改修の補助制度を設ける考えはないか。

**答** 通学児童などの歩行空間の安心・安全のため大変重要で、補助要綱の策定を進めている。



よねだ かずか  
米田 一香

# 旧消防庁舎跡地の利活用は 都市整備部長 住民の利便性向上に資する



有効活用が望まれる（旧消防庁舎跡地）

**問** ※旧消防庁舎跡地の大規模商業施設立地計画が決まった経緯を示せ。

**答** 庁内の公共施設再配置検討会で利活用方法を議論し、旧消防庁舎は老朽化が著しいため、撤去の方向性が示されている。現在、白帆台商業施設用地への企業誘致を進めているが、事業者側から旧消防庁舎跡地を有効活用する提案を受けた。

**問** 近隣の商業施設との兼ね合いは。町遊休施設の利活用は丁寧に進めよ。

**答** 過大なサービス競争が懸念されるが、各店舗で魅力あるサービスを提供することで住民の買物の選択肢が増え、生活の利便性が向上するとともに、町は安定的な賃貸料収入を得られ、遊休財産の有効活用に資する。今後も丁寧に進める。

## 森林環境税

**問** ※森林環境税が令和6年度から個人住民税に上乗せして徴収される。町の森林の位置づけや林業の状況は。森林の適正管理と整備が、町の自然環境や住民の暮らしに及ぼす影響と税の意義は。

**答** 森林は地球温暖化や土砂流出の防止、木材の産出など、多面的な価値を有している。町では林業従事者はいないが、私

有林人工林の面積は8・51ヘクタールで、日本海からの風や砂を防ぐなど、生活において重要な役割を担っている。森林環境税は我が国が持続可能な発展を遂げていく上で大変意義がある。

**問** ※森林環境譲与税の使用方針は。

**答** 林帯遊歩道の整備に重点を置き、進めたい。



木漏れ日の中で

※旧消防庁舎跡地の大規模商業施設立地計画

鶴ヶ丘2丁目の旧消防庁舎跡地の町有地と隣接する民有地を一体的に活用することで、大規模商業施設の用地としたいという提案が、民間事業者からなされた。町有地の利用方法は、民間事業者が町有地を借り上げ、施設を建設するというもの。令和元年6月会議で議会に報告された。

## ※森林環境税

森林環境の整備に必要な財源を安定的に確保することを目的に令和6年度から新たに課税される。個人住民税に上乗せして1人当たり年額1000円が徴収される。

## ※森林環境譲与税

森林環境税として国に集められた税の全額が、基準に沿って市町村・都道府県に配分される。森林整備、人材の育成及び確保、普及啓発、木材の利用促進などの施策に要する費用に充てられる。



きたがわ えつこ  
北川 悦子

# 低い投票率をあげる工夫を 公民館での期日前投票も検討

選管書記長

## 一般質問



ここでも期日前投票できるよ (ほのほの湯)

**問** 参議院選挙46・76%の低い投票率をどう認識しているのか。期日前投票者数と、ほのほの湯での投票者数を問う。

**答** 前回選挙より11・59%も投票率が減少しており、今後啓発活動に努めていきたい。  
期日前投票者数は16日間で3980人。そのうち、ほのほの湯では1日で161人。

**問** 期日前投票所を増やす考えはあるのか。

**答** 公民館、日数など含めて検討していく。

**問** 主権者教育の現状は。

**答** 各小学校で模擬投票を実施した。また、内灘高校では選挙出前講座を実施、期日前投票所の投票立会人としても選挙に直接関わってもらった。

## 保育の無償化

**問** 10月1日より3歳から5歳児の保育料は無償化になる。

国の制度では副食費を保護者負担としているが、町長から9月会議の提案理由で町独自で副食費を無償化すると説明があった。月額4500円×人数分が町負担となるが、子育てへの大きな支援になると大変喜んでいて、無償化による課題、問題点を問う。



のびのび育つ手助けを

**答** 副食費を無償化しなかった場合に懸念されるのは、副食費徴収の事務負担と多子世帯保育料軽減事業で、現在、保育料が無料となっている約50人の副食費が要る問題だ。

しかし、町独自の取り組みとして、保育料無償化にあわせ、おかずやおやつなどの副食費の無償化を実施するため、本9月会議に補正予算を提出しているので問題はない。

## その他の質問

**問** 図書館の充実、快適な場所を。

**答** 図書館建設に向けての基本構想策定を前向きに検討する。

**問** 学校、公園の周辺は防犯上、明るくせよ。

**答** 街灯の増設等は地元町会の要望に基づき対応していく。



いそがひ 磯員 幸博

# 業務改善のためRPA導入を 町長 引き続き調査研究していく

**問** 伝票入力やデータの収集など単純作業を自動化し、人為的ミスを無くし、職員をより重要な業務へと配置できる※RPA導入を検討できないか。福島県会津美里町では2日の作業を1時間に短縮できたそうだ。業務時間外でも活用可能で生産性の向上が図られる。人口減少時代に業務の効率化が急がれる。導入の考えはあるか。



将来をみすえて 町職員勉強会

**答** 4市2町で構成する石川中央都市圏で、平成31年1月に各市町の担当職員が集い、RPAやAI（人工知能）活用事例の勉強会を行なった。町でも4月に職員勉強会を開催した。

今後も新技術を提供する事業者や既導入自治体の活用事例を参考に、導入可能業務の検討及び導入効果を精査し、引き続き調査研究していく。



【おもて面】



【うら面】

マイナンバーカードの内灘町の普及率は10.5%  
(令和元年8月末)

## マイナンバーカード

**問** 総務省はマイナンバーカードを令和2年3月から健康保険証として利用する方針を打ち出した。子供や高齢者の見守り、各種ポイント付与にも使える。カードに搭載されているICチップの空き容量を活用した町独自の利用者サービスを提供できないか。

**答** 国の動向を踏まえ研究していく。

**問** 住民税や固定資産税の一括納付報奨金、※サポカー購入費補助や軽自動車税の減免、児童扶養手当受給者への割増給付や移動に支援が必要な方への給付措置など、さまざまな町独自の税や給付の優遇措置を実施することにより、カード普及の弾みにできないか。

**答** 税や給付面で優遇することは考えていない。

## その他の質問

**問** 住民税や固定資産税の納付方法の多様化を。

**答** 導入は困難。

**問** 小学校利活用協議会の設置を強く望む。

**答** 現時点で考えはない。

**問** 学校や公共施設に国旗・町旗の常時掲揚を。

**答** 引き続き適時適切に判断し、掲揚したい。

**問** 地域おこし協力隊員のサポート体制構築を。

**答** 一面談や情報交換など環境整備に努める。

**※RPA**  
ロボティック・プロセス・オートメーションの略。人間が行なってきた定型なパソコン操作をソフトウェアによって自動化するもの。

**※サポカー**  
セーフティ・サポートカーの略称で、自動安全ブレーキ装置などを搭載した車。



しちだ みつお  
七田 満男

# 公園でのボール遊びは

## 人に迷惑をかけなければ容認

都市建設課長

### 一般質問



まわりをよくみて遊ぼうね

**問** ボール遊び禁止の公園もあるが、数人で軟式やビニールなどの柔らかいボールでのキャッチボールやサッカーボールでのパスなどのボール遊びは行なってもいいのでは。

**答** 公園はあらゆる目的で人々が集う場所だ。みんなが気持ちよく利用するため、公園の規模や形状など、実態に即した柔軟なルールづくりを検討すべき。

**問** さまざまな人が利用する場所であるため、危険な行為などがなく、他人の迷惑にならない程度のボール遊びであれば容認されるものと考えている。

**答** ボール遊びにより、子供は人と関わり、多くの社会ルールを学ぶことができる。利用者のニーズに合った公園となるよう調査研究する。

### 屋外プール

**問** 今年の夏は記録的な高温を受け、熱中症対策のため子供たちの水泳活動の機会が減少した。学校のプール使用禁止の基準を示せ。

**答** 各小学校では、気温は35度以上、水温は32度以上のほか、熱中症予防の暑さ指数（※WBGT）や降雨の状況、雷及び大雨注意報・警報を加味し決定している。



1年生と6年生合同のプール授業（大根布小学校）

**問** 熱中症対策は。今後予想される気温の上昇を踏まえ、水泳の機会をどのようにつくるのか。

**答** 水温の上昇を抑えるためプールへの追加の注水、プールサイドへのテント設置や散水、休憩時間は日陰で休ませる。水筒を持参させ、水分補給の指導を行なっている。児童の安全が最優先で、使用制限は必要だ。

**※WBGT**  
湿球黒球温度の略。人体の熱収支に影響の大きい湿度・熱放射・気温を取り入れた指標で、高温下での作業やスポーツなどの暑さや熱による障害を防ぐため使われる有効な指標となっている。



いとう みる 満

# 東集会所リニューアル工事計画は 町長 令和2年度実施に向け検討

**問** 築36年が経過し、老朽化が進んでいる。地元の要望もあることから、現在、策定中の個別施設

**答** 築36年が経過し、老朽化が進んでいる。地元

**問** 地区公民館改築の場合には地区協力の取り決めがあるが、類似施設で多額の改修費が必要となる場合には検討していく。

**答** 地区公民館改築の場合には地区協力の取り決めがあるが、類似施設で多額の改修費が必要となる場合には検討していく。

**問** 工事費は、利用する地元負担もあつて然るべき時代にきた。今後、地元負担の考えはあるか。



早期のリニューアルが待たれる

## 横断歩道と信号機

**問** 清湖大橋下の県道松任宇ノ気線交差点西側に、横断歩道と押しボタン信号機の速やかな設置を強く要望する。10年近く地元より要望が出ているが話が進まない。

**答** 地下道は、交通量の多い道路を安全に横断する通路として有効だ。また、交通安全の観点から通学時には地下道を利用することが望ましい。

**問** 地下道は、お年寄りや体の不自由な方には勾配が強く負担だ。また、以前から不審者情報や構造が分かりづらい、スケートボードをしていて怖いなどの声がある。

## その他の質問

**問** 庁舎内温度は適正に管理しているか。職員にアンケート実施の考えは。



今は危ないから地下道を利用してね

# 追跡

ありゃ～  
どうなったがいね～

## 幼児教育の無償化に合わせ 町独自で給食費の無償化を進めよ

10月から実施される幼児教育無償化の対象児童は。保護者の所得制限等はあるのか。また、「子育てするなら内灘」と言えるよう給食費の無償化を進めよ。

平成31年3月会議

七田 満男

答 弁

## 給食費の無償化を検討する

無償化の対象は0歳から5歳児までで、0歳から2歳児は所得制限がある。3歳から5歳児の給食費は無償化ではないが、今後、町の財政状況を見て検討したい。

その後

## 令和元年10月 町独自で副食費(3歳児以上)も無償化

子育て支援をより一層拡充するため、幼児教育・保育の無償化に合わせ、おかずやおやつなどの副食費の無償化を実施しています。



子育てするなら内灘

## 地域での高齢者の居場所づくり 支援と仕組みをつくれ

高齢者が地域でいきいきと暮らせる居場所づくりや通いの場を空き家などを利用し、行政が支援と仕組みづくりの働きかけ等ができないか。

平成29年12月会議

北川 悦子

答 弁

## 補助事業の継続と新たな支援を検討

平成29年4月より高齢者の通いの場を提供する事業1件に対し助成をしている。高齢者施策推進には地域のつながりが大変重要であり、今後も補助事業は継続し、新たな支援策も調査、検討をする。

その後

## 平成31年4月から 補助を増額し事業を継続

高齢者の通いの場を提供する住民主体による自主的活動の支援は、補助を増額し、継続しています。新たに申請があれば、活動支援を実施します。



いきいきと暮らせる居場所を



ぎんいろな遠山  
なかみみ



### 議会を傍聴しませんか

12月会議の一般質問は **12月5・6日午前10時から**です。詳しくは町ホームページをご覧ください。  
傍聴の受付は当日、庁舎3階エレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL286-6715

突撃!

# 街かどインタビュー

町の団体シリーズ ⑦

今回はボランティアとして防犯と交通安全推進隊で活躍する、飯田春雄さんにお伺いしました。



昭和43年の辞令書

#### ◆活動のきっかけは?

○宮坂から向栗崎に引越した20代の頃、各班1名の向栗崎区防犯交通員に選ばれました。その後、全町で防犯と交通安全推進隊ができたので、そのまま隊員になりました。

#### ◆思い出のエピソードは。

○平成3年のいしかわ国体のロードレースでは、土砂降りの中で警備をしました。

河北潟一周を自転車で駆け抜ける選手の速さは、間近で見るとびっくりするほど速かったのを覚えています。

#### ◆先の4月で勤続50年、すごい歴史ですね。

○当初からの隊員は自分一人になりました。宮坂にいた時に消防団に入っていたこともあり、地域のために活動するのは当然です。

#### ◆理想の町は。

り前との思いがあり、50年間、一度も苦に感じたことはありませんでした。こうして長く務められているのは、家族の理解のおかげです。



中部管区防犯功労表彰  
県警本部で防犯功労者表彰を受けられました

○昔に比べ、町は格段に発展してきました。北部の

#### ◆ありがとうございました。

インタビュー 米田一香



役場前にて出発式  
(右から2番目が飯田さん)

不便さはあると思うが、もうすぐ白帆台のインターもできます。何事をするにもお金がかかるし、欲を言ってもきりがない。今が暮らしやすいです。

## 編集後記

記録的な大雨をもたらした台風19号は東日本の広範囲に及び各地で甚大な被害が出ています。

その雨量は、100年に1度と想定される量を超え「大雨特別警報」のレベルを上回ることが判明しています。

犠牲になられた方へ哀悼の意を捧げるとともに、被災された方々にも一日も早い復興をお祈りいたします。災害は忘れた頃にやってくることは過去の事で、近年、自然災害は地球温暖化の影響で大規模化し、頻発しています。

町民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

(恩道 正博)

#### 広報対策特別委員会

- 委員長 土屋 克之
- 委員 米田 一香
- 委員 恩道 正博
- 委員 小谷 一也
- 委員 西尾 雄次

1部あたりの単価は42.96円です。

